

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	市員町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	市員町芝ざくらまつり	総事業費	0	235,000	396,679	309,228	380,410	1,321,317
		うち市町支出額	0	200,000	187,528	100,000	300,000	787,528
		うち県交付金	0	0	93,764	50,000	87,927	231,691
2	サシバの里いちかい夏祭り	総事業費	0	0	7,432,273	7,329,218	8,501,000	23,262,491
		うち市町支出額	0	0	2,600,000	3,500,000	4,000,000	10,100,000
		うち県交付金	0	0	1,300,000	1,700,000	0	3,000,000
3	市員町町民祭	総事業費	0	0	1,887,660	2,117,231	2,613,766	6,618,657
		うち市町支出額	0	0	1,790,525	2,000,000	2,500,000	6,290,525
		うち県交付金	0	0	895,262	1,000,000	1,104,738	3,000,000
4	都市農村ふれあい交流事業①	総事業費	0	0	27,796	36,380	100,000	164,176
		うち市町支出額	0	0	27,796	36,380	0	64,176
		うち県交付金	0	0	0	18,190	0	18,190
5	都市農村ふれあい交流事業②	総事業費	0	0	100,000	101,880	100,845	302,725
		うち市町支出額	0	0	100,000	100,000	100,000	300,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	50,000	100,000
6	都市農村ふれあい交流事業③	総事業費	0	0	250,000	241,953	230,272	722,225
		うち市町支出額	0	0	100,000	100,000	100,000	300,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	50,000	100,000
7	都市農村ふれあい交流事業④	総事業費	0	0	110,000	105,989	101,213	317,202
		うち市町支出額	0	0	0	100,000	100,000	200,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	21,908	71,908
8	都市農村ふれあい交流事業⑤	総事業費	0	0	0	130,583	0	130,583
		うち市町支出額	0	0	0	100,000	0	100,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	0	50,000
9	都市農村ふれあい交流事業⑥	総事業費	0	0	0	116,040	124,350	240,390
		うち市町支出額	0	0	0	100,000	100,000	200,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	42,218	92,218
10	おかのぼRock Fest.	総事業費					2,893,091	2,893,091
		うち市町支出額					2,500,000	2,500,000
		うち県交付金					1,186,874	1,186,874
市町計		総事業費	0	235,000	10,204,408	10,488,502	15,044,947	35,972,857
		うち市町支出額	0	200,000	4,805,849	6,136,380	9,700,000	20,842,229
		うち県交付金	0	0	2,289,026	3,018,190	2,543,665	7,850,881

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	市貝町芝ざくらまつり
事業主体の名称	芝ざくら祭り開催実行委員会
代表者の名称	会長 軽部修
事業主体の所在	〒321-3493 芳賀郡市貝町大字市塙1280
事業主体の概要	・団体の目的:芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会(芝ざくら公園指定管理者)と協同し、うるおいと安らぎのある快適な地域環境の形成と地域活性化を図る為に開催する芝ざくら祭りを円滑に運営することを目的とする。 ・設立年月日:平成24年10月11日 ・構成員等:市貝町、芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会、市貝町商工会、市貝町観光協会、等全7団体
当該事業に係る地域の現状と課題	市貝町芝ざくらまつりは平成18年よりはじまり、今年度で19回目を迎えた。市貝町最大のイベントとして最盛期は30万人以上の来場があったが、現在は新型コロナウイルス感染症による影響もあり5万人程度の来場にとどまっており、地域の活力が弱くなっている。芝ざくら公園は、本町最大の観光資源であるので、国内からの観光客をはじめ、近年多くみられる台湾からの観光客をリピーターを確保していくことが課題である。また、新規の顧客を得るために効果的なPRも必要である。
事業目的	ホームページやマスコミ、チラシ、ポスター等の広報活動やPRを行い、市貝町が日本有数の「芝ざくら公園」がある魅力的な花の町として、知名度の向上やイメージアップを図り、観光客の増加による経済効果の拡大で観光分野に留まらない地域の活性化を目指す。
事業概要	【令和7年度】(I-d) 芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会(芝ざくら公園指定管理者)と協働し、うるおいとやすらぎのある快適な地域環境の形成と地域活性化を図るため、「市貝町芝ざくらまつり」及び芝ざくら公園の適切な維持管理を行った。 (1)芝ざくらまつり(4/1～4/30) ①町内商店等の模擬店の出店 ②町内文化協会団体等ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④真岡鉄道と連携した観光ツアーの実施 ⑤LRTかしの森公園駅から無料送迎バスの運行 (2)通年事業 ⑥植栽作業など住民ボランティアと連携した公園の維持管理 ⑦観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等、とちまるショップやJRの駅等の首都圏で開催されるイベントへの参加や⑧開広告の掲載、旅行会社等へ情報提供を行い、町内外からの参加者増加を図る。 【新規性】 LRT駅から観光ツアーの拡充 【令和8年度】 次年度以降も芝ざくらまつり等を開催し、他団体との連携やステージイベントなどを行いながら以前の賑わいを取り戻し、魅力ある町としてのPR、地域活性化に努める。上記の事業を行い芝ざくらまつりを開催し、多くの観光客が訪れ、町のイメージアップにつなげることを目標とした。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標2:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 観光入込客数:令和7年 約40,000人 令和8年 約42,000人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳						(単位:円)
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度	
事業内容	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④真岡鉄道等と連携した観光ツアーの実施 ⑤近隣大学や近隣高校と連携した公園の維持管理 ⑥観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④真岡鉄道等と連携した観光ツアーの実施 ⑤住民ボランティアと連携した公園の維持管理 ⑥里山保全団体と連携した観光ツアーの実施	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④真岡鉄道等と連携した観光ツアーの実施 ⑤住民ボランティアと連携した公園の維持管理 ⑥LRT駅からの観光ツアーの実施		市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④住民ボランティアと連携した公園の維持管理 ⑤LRT駅からの観光ツアーの実施	
事業費	396,679	309,228	380,410	1,086,317	397,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	187,528	100,000	300,000	587,528	300,000	
うち県交付金	93,764	50,000	87,927	231,691		
市町支出金 (ハード事業分)				0		
うち県交付金				0		
その他自主財源等	209,151	209,228	80,410	498,789	97,000	

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	市貝町芝ざくらまつり	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	300,000	市貝町補助金
繰越金	80,254	前年度繰越金
雑収入	156	預金利子・保険料返金
計	380,410	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	21,384	21,384	10,692	0	賞状用紙等
報償費	38,890	38,890	19,445	0	写真コンテスト賞品
通信運搬費	0	0	0	0	
保険料	72,250	72,250	36,125	0	イベント傷害保険
使用料及び賃借料	10,000	10,000	5,000	0	看板借地料
広告料	33330	33,330	16,665	0	新聞広告費等
予備費	0	0	0	0	
				0	
次年度繰り越し	204,556	124,146	0	80,410	
				0	
計	380,410	300,000	87,927	80,410	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	市貝町
事 業 名	市貝町町民祭
事業主体の名称	市貝町町民祭運営協議会
代表者の名称	会長 軽部 修
事業主体の所在	〒321-3493 芳賀郡市貝町大字市塙1280番地
事業主体の概要	・団体の目的:市貝町の産業、教育、文化の祭典として、個性豊かな地域づくりの推進のため、総合的なイベントを開催する。 ・設立年月日:昭和56年11月2日 ・構成員等:市貝町、市貝町議会、はが野農業協同組合、市貝町商工会等 全12団体
当該事業に係る地域の現状と課題	当町においても、近隣市町同様に人口減少、少子高齢化などがあり、担い手不足や地域の衰退が懸念されている。これらを解決、緩和するためには、町民の郷土愛を醸成し定住促進を図ることや町外の方に市貝町を知ってもらい関係人口を増加させ、移住促進が必要である。 当該事業は町内外から多くの来場者があり、町内等で活動する各団体が、それぞれの活動PRや特産品・農産物等の販売
事業目的	町民祭会場での町民や周辺住民の交流や、特産品等の展示販売を通じふるさとへの理解や郷土愛の醸成を図る。また、展示販売体験等のさまざまなイベントを通じ、「町の再発見」により新たな市貝ファンの獲得及び関係人口の増加を目指す。また、町内外から多くの来場者があることから、各団体の活動PRや特産品・農産物等の販売により、移住定住促進を図る。
事業概要	【令和7年度】【I-d】 日時:令和7年11月23日 9時～14時 会場:市貝町中央公民館グラウンド ①市貝地区JAまつり:生活資材・農機具小物等の販売、JA食堂(天ぷらうどん・そばの販売)、フリーマーケット、等 ②商工会コーナー:会員企業の逸品販売、リフォーム相談等 ③酪農組合コーナー:仔牛の体重当てクイズ、堆肥の無料配布等、 ④地産地消コーナー:地元産野菜を使用した軽食の販売 ⑤その他コーナー:ミニ上棟式、木炭関係PR、健康づくり・介護保険 PR、自衛隊PR、交通安全・消防PR、日本赤十字PR、サンパPRコーナー、移住・定住相談コーナー 移住・定住相談コーナーを設置し、町内外の方に町の紹介や空き家の紹介、各種補助制度などを紹介し、移住・定住の促進を図った。 【令和8年】 ※他祭りと同時に開催し、集客力を高める。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標2:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 観光入込客数:令和6年:388,295人 令和7年:400,000人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー		別イベントへ変更予定
事業費	1,887,660	2,098,000	2,613,766	6,599,426	7,200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,790,525	2,000,000	2,500,000	6,290,525	7,200,000
うち県交付金	895,262	1,000,000	1,104,738	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	97,135	98,000	113,766	308,901	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	市貝町町民祭	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	2,500,000	市貝町補助金
雑収入	295	預金利子
繰越金	113,471	前年度繰越金
計	2,613,766	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	155,285	155,285	77,642	0	ミニ上棟式で使用するまきもの代
委託料	804,330	804,330	402,165	0	商工会物品作成等委託料
手数料	0	0	0	0	
使用料及び賃借料	1,650,330	1,540,385	624,931	109,945	イベント会社より貸しテント及びイス等借用
保険料	0	0	0	0	
予備費	0	0	0	0	
				0	
次年度繰り越し	3,821	0	0	3,821	
				0	
				0	
計	2,613,766	2,500,000	1,104,738	113,766	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	市貝町
事 業 名	都市農村ふれあい交流事業②
事業主体の名称	富士山保全会
代表者の名称	田中 孝幸
事業主体の所在	〒321-3411 市貝町大字刈生田714
事業主体の概要	・団体の目的:自然環境の維持 ・設立年月日:令和元年頃 ・構成員等:会員ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	里地里山の保全事業の展開にあたり、担い手が思うように確保できないことに加え、会員の高齢化も深刻化している。また、田んぼや森林の荒廃が進み、サンバが生息できる環境が少なくなっている。
事業目的	耕作放棄地再生や雑木林管理をできないまま放置されていた谷津田をサンバと共存できるように整備し、自然環境の維持に努める。その周辺では、伐採した木材を使い、子どもたちを楽しんでもらえるよう遊具の改修に努める。また、子ども向け動植物観察会など、自然とふれあう事業を展開し、里地里山に興味をもってもらう。
事業概要	【令和7年度】(I-d) ①里地里山整備事業・・・自然豊かな里地里山を保全するため環境整備(草刈りや森林整備)を実施する。また、動植物観察会を開催し、里地里山の魅力について体験できる機会を設けた。 ②遊具整備体験事業・・・伐採した周辺森林の木材を再利用し、体験型イベントとして遊具の整備をおこなう。木材に触れることで少しでも森林に興味を持ってもらえるような機会をつくった。 (令和7年6月26日、令和7年8月28日、令和7年11月23日実施) 【令和8年度以降】 R7の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 KPI:自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人(うち富士山保全会延べ300人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	5年度	6年度	7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①里地里山整備事業 ②遊具修繕事業	①里地里山整備事業 ②遊具修繕事業	①里地里山整備事業 ②遊具修繕事業		①里地里山整備事業 ②遊具修繕事業
事業費	100,000	101,880	100,845	302,725	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	100,000
うち県交付金		50,000	50,000	100,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	1,880	845	2,725	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業②	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	
自己資金	845	
計	100,845	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	10,000	10,000	5,000	0	草刈用替刃
燃料費	10,845	10,000	5,000	845	ガソリン、オイル代
使用料及び賃借料	80,000	80,000	40,000	0	草刈機等リース料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	100,845	100,000	50,000	845	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

1 市町のみで事業を実施する場合

2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	都市農村ふれあい交流事業③
事業主体の名称	いちかい米米クラブ
代表者の名称	小野寺 幸絵
事業主体の所在	〒321-3412 市貝町大字田野辺392
事業主体の概要	・団体の目的:谷津田の再生 ・設立年月日:平成27年8月 ・構成員等:会員ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	耕作放棄された農地が徐々に増加している。
事業目的	町民と都市の住民がいっしょに町内の貴重な自然環境が残る谷津田の再生及び保護活動をおこなう。また、サシバと人と食の持続可能な社会に向けた有機農業の推進を図るため、有機米の栽培に努める。
事業概要	【令和7年度】(I-d) ①谷津田の再生・・・宇都宮など都市部に住む方と協力して耕作放棄された田んぼの再現を図った。 ②田植え・稲刈り・・・人にも環境にもやさしい有機栽培を都市部の方とおこない都市と農村の交流を図る。また、稲刈後には学校給食に有機米を提供し、子どもたちにも自然農法による環境に負荷をかけない農業の大切さについて知ってもらうことで、里地里山ならではの農業の創出・普及を図った。 ・令和7年4月13日種蒔き実施 令和7年4月14日水路泥さらい実施 令和7年4月26日代掻き、畦塗り実施 令和7年5月1日苗運び実施 令和7年6月1日田植え実施 令和7年7月30日生き物観察会実施 令和7年7～8月除草作業実施 令和7年9月14日はざかけ用竹切り実施 令和7年9月21日稲刈り実施 令和7年9月28日稲刈り実施 令和7年11月12日脱穀実施 令和7年12月25日収穫祭実施 【令和8年度以降】 R7の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 KPI:自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人(うちいちかい米米クラブ延べ300人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	5年度	6年度	7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①谷津田の再生 ②田植え・稲刈り	①谷津田の再生 ②田植え・稲刈り	①谷津田の再生 ②田植え・稲刈り		①谷津田の再生 ②田植え・稲刈り
事業費	250,000	241,953	230,272	722,225	240,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	100,000
うち県交付金		50,000	50,000	100,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	150,000	141,953	130,272	422,225	140,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業③	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	
自己資金	130,272	
計	230,272	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
燃料費	40,578	40,000	20,000	578	ガソリン、オイル代
消耗品費	144,969	50,000	25,000	94,969	肥料、種もみ、ビニール袋
賄材料費	28,725			28,725	食料代
報償費	16,000	10,000	5,000	6,000	圃場の水管理に係る報償
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	230,272	100,000	50,000	130,272	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	市貝町
事 業 名	都市農村ふれあい交流事業④
事業主体の名称	特定非営利活動法人いちかい子育てネット羽ばたき
代表者の名称	永島 朋子
事業主体の所在	〒321-3414 市貝町大字続谷1143-3
事業主体の概要	・団体の目的:里山での農業体験 ・設立年月日:平成25年12月 ・構成員等:会員ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	市貝町の北部地区は、年々高齢化が進み、同時に子どもの数も減少傾向が続いている。昔、賑わっていた光景は、今ほとんど見られない状況となっている。
事業目的	貴重な自然環境が残る里山で農業体験活動などを通じて、子ども自身が自分らしさを見つけ、大きな世界へ羽ばたけるよう学びの場を提供していく。また、地域のおじいちゃんやおばあちゃんと関わることで社会性や責任、思いやりといった心の情操を養うことを柱に事業を展開していく。
事業概要	【令和7年度】(I-d) ①たけのこ堀り及びどろんこ遊び・・・都市部では体験することが難しいイベントを開催した。 ②田植え・稲刈り・・・地域と都市部の方々が共同で田植え・稲刈りをおこない都市と農村の交流を図った。 ③ホタル観察会キャンプ・収穫祭・・・夏の夜に幻想的な風景を味わい、環境保全の大切さを学ぶ。野外での炊飯など体験する。 ・令和7年4月26日たけのこ堀り実施 令和7年6月1日田植え実施 令和7年6月21日水辺の生き物観察会実施 令和7年11月9日収穫祭実施 令和7年12月20日しめ縄づくり実施 【令和8年度以降】 R7の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 KPI:自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

28500

(単位:円)

	5年度	21500	7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①筍堀り、どろんこ遊び ②田植え・稲刈り ③ホタル観察会、収穫祭	①筍堀り、どろんこ遊び ②田植え・稲刈り ③ホタル観察会、収穫祭	①筍堀り、どろんこ遊び ②田植え・稲刈り ③ホタル観察会、収穫祭		①筍堀り、どろんこ遊び ②田植え・稲刈り ③ホタル観察会、収穫祭
事業費	110,000	105,989	101,213	317,202	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)		100,000	100,000	200,000	100,000
うち県交付金		50,000	21,908	71,908	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	110,000	5,989	1,213	117,202	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	

連絡先	電話	
	FAX	
	E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業④	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	
自己資金	1,213	
計	101,213	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
食糧費	57,396	56,183		1,213	容器、材料費等
消耗品費	43,817	43,817	21,908	0	食材費
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	101,213	100,000	21,908	1,213	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。
連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	市貝町
事 業 名	都市農村ふれあい交流事業⑥
事業主体の名称	道の駅サシバの里いちかい
代表者の名称	岩村 雄也
事業主体の所在	〒321-3423 市貝町大字市塙1270
事業主体の概要	・団体の目的:農村の活性化 ・設立年月日:平成31年2月28日 ・構成員等:会員ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	農村の伝統行事(どんど焼き)などが年々失われてきている状況。
事業目的	少子高齢化に伴い農村の伝統行事(どんど焼き)も年々失われてきており、そのような行事を地域住民及び近隣都市の方との体験イベントを開催し、農村の活性化を図る。
事業概要	【令和7年度】(I-d) ①サシバの「どんど焼き」体験・・・地域コミュニティの形成及び子どもの興味・関心、学ぶ理由、目標など実体験を踏まえて、それらを高めるためのきっかけを創出する。 日本の伝統行事であるどんど焼きは、地域社会の結束を強め、文化を継承する大切な役割を果たしている。子どもたちに、「どんど焼き」を体験してもらい木を高くする組み方を自分たちで考えることができる。また、火への好奇心や興味、火の怖さなど知るきっかけを創る。 ・令和8年1月11日実施 ②周知については、チラシ等を作成し、ホームページやSNSを通して町外からの来場者を募る。 【令和8年度以降】 R7の取組を踏まえ、適宜見直し・継続を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:地元に残り、他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 KPI:自然観察型・農業体験型・イベント参加型延べ1,200人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	5年度	6年度	7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		①サシバの「どんど焼き」体験	①サシバの「どんど焼き」体験		①サシバの「どんど焼き」体験
事業費		116,040	124,350	240,390	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)		100,000	100,000	200,000	100,000
うち県交付金		50,000	42,218	92,218	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	16,040	24,350	40,390	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	

連絡先	FAX	
	E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支予算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	都市農村ふれあい交流事業⑥	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	100,000	
自主財源	24,350	
計	124,350	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
資材費	40,102	40,102	20,051	0	作業用テープ、ひもなど
消耗品費	44,334	44,334	22,167	0	竹材料等
食材費	39,914	15,564	0	24,350	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	124,350	100,000	42,218	24,350	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。
連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	市貝町
事 業 名	おかのぼRock Fest.
事業主体の名称	市貝JLC音楽フェス実行委員会
代表者の名称	市貝JLC音楽フェス実行委員会 実行委員長 永島誠強
事業主体の所在	市貝町上根1577
事業主体の概要	・団体の目的:市貝ジュニアリーダーズクラブ発案の音楽イベント「おかのぼRock Fest.」の開催に向けて企画立案、事前準備、当日の運営などを行う。 ・設立年月日:令和6年8月24日 ・構成員等:30名(実行委員長1名、副実行委員長2名、監事2名)
当該事業に係る地域の現状と課題	地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載 人口について、平成7年以降減少傾向であり令和17年には1万人を割ることが想定される。直近20年において転出が転入を上回っており、特に若年層での転出超過が顕著であり、若年層にとって魅力ある地域づくりが課題である。
事業目的	事業の目的を簡潔に記載 若者が主体となり、若者にとって魅力あるイベントを企画・運営することで、若者に活躍の場を設けるとともに、若者が「地元に戻りたい」と思える地域づくりに取り組む。
事業概要	【令和7年度】【I-d】 〈おかのぼRock Fest.〉 日時:令和7年8月10日(日) 11:00～18:00 場所:市貝町町民ホール(市貝町上根1577) 内容:高校生年代によるバンド演奏 ゲストバンド演奏 県内高等学校など関係各所にイベントポスターを配布するほか、SNSなどを利用し広く来場を呼び掛けた。 【令和8年度】【I-d】 〈おかのぼRock Fest.〉 日時:令和8年8月9日(日) 11:00～18:00 場所:市貝町町民ホール(市貝町上根1577) 内容:高校生年代によるバンド演奏 ゲストバンド演奏 県内高等学校など関係各所にイベントポスターを配布するほか、SNSなどを利用し広く来場を呼び掛けた。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	市貝町人ロビジョン まち・ひと・しごと総合戦略 【目標】地元に残り他からもやってくる選ばれる魅力の創出と発信 【KPI】転入人口増加数 16人(H30)⇒20人(R7) 観光入込客数 592,641人(H30)⇒650,000人(R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容			〈おかのぼRock Fest.〉 日時:令和7年8月10日(日) 11:00～18:00 場所:市貝町町民ホール(市貝町上根1577) 内容:高校生年代によるバンド演奏 ゲストバンド演奏		〈おかのぼRock Fest.〉 日時:令和8年8月9日(日) 11:00～18:00 場所:市貝町町民ホール(市貝町上根1577) 内容:高校生年代によるバンド演奏 ゲストバンド演奏
事業費			2,893,091	2,893,091	
市町支出金 (ソフト事業分)			2,500,000	2,500,000	
うち県交付金			1,186,874	1,186,874	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	393,091	393,091	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おかのぼRock Fest.	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市町支出金	2,500,000	
協賛金等	393,091	
計	2,893,091	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	98,970	98,970	49,485	0	
消耗品費	1,215	1,215	608	0	
食糧費	52,567	14,067	7,034	38,500	
印刷製本費	161,849	161,849	80,924	0	
通信運搬費	6,820	6,820	3,410	0	
保険料	13,500	13,500	6,750	0	
手数料	5,607	5,607	2,804	0	
委託料	1,730,269	1,730,269	865,134	0	
借上料	341,451	341,451	170,725	0	
予備費	0	0	0	0	
次年度繰り越し	480,843	126,252	0	354,591	
計	2,893,091	2,500,000	1,186,874	393,091	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合